

相続相談対応研修

研修目的・ゴール等	生前の相続相談対応にかかる基礎知識・ノウハウを理解のうえ、生前の相続相談ニーズにかかる発見力・対応力が向上している
想定受講対象者	信用事業部門の渉外担当者および管理者 (「相続実務研修」受講済、もしくは「相続アドバイザー3級」取得済である者)
適正人数	推奨：24名（上限：36名まで）
研修日程	2日
研修講師	トーマツ

【研修プログラム(1日目)】

	10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶・グループワーク 講義 ・農協に求められる相続相談対応等	講義 ・相続税額計算の全体像等	(昼食)	講義 ・課税価格の把握等	グループワーク ・相続相談対応に必要な情報	講義 ・納税資金対策等	講義 ・相続税の最適化・組合員の生前対策	まとめ・閉講挨拶
時間	15	65	60	65	45	20	85	10

【研修プログラム(2日目)】

	10	11	12	13	14	15	16	17	
研修内容	講義 ・土地評価の基本	講義 ・土地評価の基本等(続き)	(昼食)	ケーススタディ ・土地対策シミュレーション	講義 ・納税資金・遺言等	ケーススタディ ・争族対策	講義 ・民法改正	ケーススタディ ・生命共済・土地活用による評価減	まとめ・閉講挨拶
時間	60	80	60	60	60	40	20	30	10

事前課題	あり	◇「相続実務研修」受講済の者は同研修テキスト、相続アドバイザー3級取得済の者は受験時の参考テキスト・資料等の読み込み ◇相続相談対応にかかる自JAの取組みの確認
事後課題	なし	

- ★本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。
★研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、その際は原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。